

特集

リカバリー時代の「精神症状」論

どうやってその人を見ながら？

精神科で「症状をみる」こと

| 松本卓也

知っていたって看護はできない

| 後藤優子

「精神症状」と聞いたとき、皆さんは
どのようなことを思い浮かべますか？

| 藤原雅司

捨て去ったほうがいい、って言っている？

| 高木俊介

年々、診断ができなくなる

| 松本俊彦

精神症状の理解とは

| 阿部大樹

編集後記

前号の特集に取り組みつつ、赤坂真理さんと松本俊彦さんのトークイベント取材し、BaseCampさんや岩井秀人さんのイベントに参加していたら、特集が「演劇」になりました。少し前だったら、「ちょっと実践から遠い?」と思ったかも。しかし今、アウトリーチの支援現場にいる皆さんは、薬や〇〇療法といった古典的手段にとどまらず、「回復するならなんでも使いこなす!」という懐の深さと創造力を持ち合わせた方ばかり。そうきたか〜と楽しんでいただけると嬉しいです。(米沢)

本誌が演劇という魔境(?)に足を踏み入れるにあたり、演劇経験者ということで、今回お手伝いをさせていただきました。演劇というと、アンングラ、フィクション、押し付けがましい等々の「面倒くさいもの」というイメージが付いて回りますが、それをベリッと剥がしていただき、現実でないけど現実、変だけれど変じゃないという、曖昧(自由)な世界にいる感覚で、特集のほうを読んでいただければと思います。そうすれば、演劇とケアに対する心地よい理解が降ってくるかもしれません。(金子)

9月末、神奈川県小田原市にある江之浦測候所へ行ってきました。もし神から箱庭を与えられて、この中で自由になんでも作っていいと言われたらこうなるかもな、と思うような、創る人のワクワクが伝わってくる世界でした。(石川)

*予定ですので、変更になる場合があります。

【価格見直しのお知らせ】

ご愛読、誠にありがとうございます。用紙費、輸送費上昇の影響により、2025年1月号から年間購読の割引が廃止され、冊子版8,382円(税込)→9,900円(税込)、電子版は8,382円(税込)→8,910円(税込)へと価格を見直すことになりました。

冊子の単体での価格は据え置きました。これからも、少しでも多くの読者の方に必要とされ、ご購入いただける雑誌でいられるよう内容の充実に努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

精神看護 第27巻第6号 2024年11月15日発行(隔月刊) 発行:株式会社医学書院 代表者:金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2024, Printed in Japan 販売・PR部: ☎03-3817-5664

「精神看護」編集部: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 米沢・石川・小池 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン: 高見清史 (view from above) 表紙・目次写真: 齋藤陽道 印刷・製本: アイワード

1部定価: 1,650円(本体1,500円+税10%)

2024年年間購読料(送料弊社負担、年間6冊): 冊子版8,382円(本体7,620円+税10%) / 冊子+電子版(個人) 11,682円(本体10,620円+税10%) / 電子版(個人) 8,382円(本体7,620円+税10%)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。